

園芸文化展示実施製作統括管理業務委託（その1）

のプロポーザルに係る提案書評価基準

表1の評価項目及び配点ウエイトのもと、評価を行います。

各評価項目の評価の視点は表2のとおりとします。

表1 基本的事項

評価項目 (配点)	評価の着目点		配点	評価	評価点
業務実績 (40点)	管理技術者	同種又は類似の業務の実績の内容	20		
	担当技術者	同種又は類似の業務の実績の内容	20		
提案内容 (90点)	① 展示制作が円滑に進められるよう、過年度の実施設計の内容をよく理解した上で、展示物製作及び映像制作業務の実施方針、配置予定者の具体的な能力が判断できる推進体制、会期終了後の事業完了までを見据えた業務全体の進め方について、具体的な提案がされているか		30		
	② 園芸文化展示では、目標観覧者数・観覧スペース・観覧時間に応じた現地解説を行う予定である。現地解説の内容に対し、より詳細な付加情報となる解説を会場外で得ることができる仕組みについて、多様な媒体での展開を想定した上で、以下2項目を含んだ明確で適切な提案がされているか ア). 園芸文化展示エリアへの来場動機につながるもの イ). 展示体験後の園芸文化の探究につながるもの		30		
	③ 園芸文化展示の協賛獲得活動を進めていく上での課題を示すとともに具体的な目標を定め、当該課題への対応策及び目標の達成に関する提案がされているか		30		
ヒアリング (40点)	理解力や専門技術力があるか		20		
	取り組み意欲が感じられるか		20		
ワーク・ライフ・バランスに関する取組等(6点)	次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定（従業員101人未満の場合のみ加算）		1		
	女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく一般事業主行動計画の策定（従業員101人未満の場合のみ加算）		1		
	次世代育成支援対策推進法に基づく認定（くるみんマーク）の取得、又は女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定（えるぼしマーク）の取得		1		
	青少年の雇用の促進等に関する法律に基づくユースエール認定の取得		1		
	障害者雇用促進法に基づく法定雇用率2.5%を達成している（従業員40.0人以上）、又は障害者を1人以上雇用している（従業員40.0人未満）		1		
	健康経営銘柄、健康経営優良法人（大規模法人・中小規模法人）の取得		1		
業務遂行能力(15点)	事業経費の積算は妥当で、費用対効果が高いものとなっているか。		15		
評価点の合計(191点)					

評価方法

- (1) 業務実績及び業務遂行能力は、A、C、Eの3段階評価を行う。
- (2) 提案内容及びヒアリングは、A、B、C、D、Eの5段階評価を行う。
- (3) 評価点については、次のように配点を行う。
 - ア 業務実績の各項目
配点 20点 A=20点、C=12点、E=4点
 - イ 提案内容及びヒアリング
配点 20点 A=20点、B=16点、C=12点、D=8点、E=4点
配点 30点 A=30点、B=24点、C=18点、D=12点、E=6点
 - ウ 業務遂行能力
配点 15点 A=15点、B=12点、C=9点、D=6点、E=3点
- (4) ワーク・ライフ・バランスに関する取組等は、各項目を1つ満たすごとに1点を加算する。
- (5) 提案内容とヒアリングの評価項目において、E評価のあるものは原則として選定しない。
- (6) 評価点について最上位の者が2人以上同点となった場合には、評価委員会にて採択を行い、最上位を決定する。
- (7) 業務実績、ワーク・ライフ・バランス及び業務遂行能力に関する取組等は、1者ごとに事務局が評価を行い、評価委員会で承認を行う。
- (8) 提案内容及びヒアリングは、1者ごとに各評価委員が評価を行う。
- (9) 業務実績、提案内容、ヒアリング及びワーク・ライフ・バランスに関する取組等の評価点の合計を評価委員全員分集計し、その合計点を当該提案者の評価結果とする。
- (10) 評価点は、評価委員1名につき満点で191点とし、評価委員全員の合計で191点×5名=955点で満点とする。
- (11) 共同企業体を組成する場合、業務実績は、1者以上の構成員が条件に当てはまることで、該当していることとする。
- (12) 共同企業体を組成する場合、ワーク・ライフ・バランスに関する取組等は、代表者たる構成員が条件に当てはまることで、該当していることとする。
- (13) 評価委員が欠席した際、その委員の評価点は無効とし、委員会に出席した委員のみで評価を行う。
- (14) ヒアリングを実施しなかった場合、ヒアリングに関する評価はC(12点)とする。
- (15) 業務遂行能力の評価に関しては、提案された見積金額を業務実績、提案内容、ヒアリング、ワーク・ライフ・バランスに関する取組等の点数の合計点で除した数値を1点あたりの費用金額とし、これが少ないものをより優れているものとする。
見積金額÷(業務実績、提案内容、ヒアリング、ワーク・ライフ・バランスに関する取組等の合計点)
=1点あたりの費用金額

表2 評価の視点

評価項目	評価の着目点		A	B	C	D	E
業務実績	管理技術者	同種又は類似の業務の実績は十分か	国際博覧会における展示物及び展示映像の制作業務及び、イベントの運営計画の立案及び運営業務に関する実績を有する	/	地方博覧会や大規模集客施設等における展示物及び展示映像の制作業務及び、イベントの運営計画の立案及び運営業務に関する実績を有する	/	A又はCに該当しない
	担当技術者	同種又は類似の業務の実績は十分か	国際博覧会における展示物及び展示映像の制作業務及び、イベントの運営計画の立案及び運営業務に関する実績を有する	/	地方博覧会や大規模集客施設等における展示物及び展示映像の制作業務及び、イベントの運営計画の立案及び運営業務に関する実績を有する	/	A又はCに該当しない
提案内容	① 展示制作が円滑に進められるよう、過年度の実施設計の内容をよく理解した上で、展示物製作及び映像制作業務の実施方針、配置予定者の具体的な能力が判断できる推進体制、会期終了後の事業完了までを見据えた業務全体の進め方について、具体的な提案がされているか		十分な理解に基づいた明確で具体的な提案である	一定程度の理解に基づいた具体的な提案である	どちらともいえない	理解がやや乏しい提案で、妥当性に欠ける	理解が乏しく、妥当ではない

評価項目	評価の着目点	A	B	C	D	E
提案内容	② 園芸文化展示では、目標観覧者数・観覧スペース・観覧時間に応じた現地解説を行う予定である。現地解説の内容に対し、より詳細な付加情報となる解説を会場外で得ることができる仕組みについて、多様な媒体での展開を想定した上で、以下2項目を含んだ明確で適切な提案がされているか ア) 園芸文化展示エリアへの来場動機につながるもの イ) 展示体験後の園芸文化の探求につながるもの	高い効果が期待される、明確で適切な提案である	一定程度の効果が期待される、適切な提案である	どちらともいえない	効果的ではあるが、やや曖昧な提案である	効果が不透明で、曖昧な提案である
	③ 園芸文化展示の協賛獲得活動を進めていく上での課題を示すとともに具体的な目標を定め、当該課題への対応策及び目標の達成に関する提案がされているか	十分な説得力があり、実現性の高い、明確で適切な提案である	一定程度の実現性がある、明確な提案である	どちらともいえない	説得力がやや乏しく、実現性に欠ける提案である	説得力が乏しく、実現性がない
ヒアリング	理解力や専門技術力があるか	特に優れている	優れている	どちらともいえない	あまり妥当ではない	妥当ではない
	取り組み意欲が感じられるか	強い意欲が認められる	意欲が認められる	どちらともいえない	あまり意欲が認められない	意欲が認められない
業務遂行能力	1点あたりの費用金額	業務遂行の費用効果が1番目に高いもの	業務遂行の費用効果が2番目に高いもの	業務遂行の費用効果が3番目に高いもの	業務遂行の費用効果が4番目に高いもの	業務遂行の費用効果が5番目以下のもの